

「クルマと公共交通の『かしこい』使い方」を考えるプロジェクト・広島」アンケート結果(速報)について

【アンケート概要】

昨年（平成17年）12月に、広島市安佐南区（広島市安川流域地区）を対象に公民館・自治会の協力を得てクルマ利用に関するアンケート調査を実施しました。



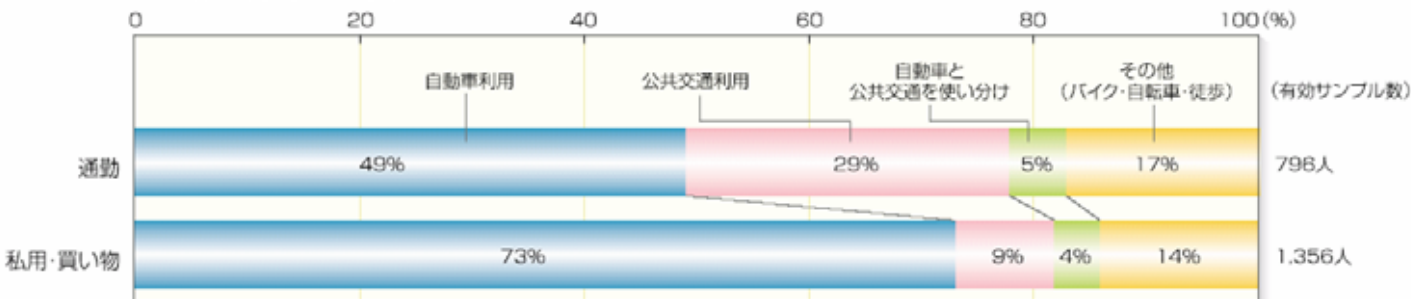
約3700世帯にアンケートをお配りし、約25%（923世帯）から回答をいただきました。サンプル数は1500にのぼりたいへん多くの方からご協力いただきました。



【クルマや公共交通の利用状況】

- ・通勤時の移動では、自動車利用が全体の約5割、公共交通が約3割、その他（バイク・自転車・徒歩等）が約2割となっています。
- ・私用・買い物での移動については、全体の約7割の方が自動車を利用されており、公共交通を利用される方は約1割となっています。

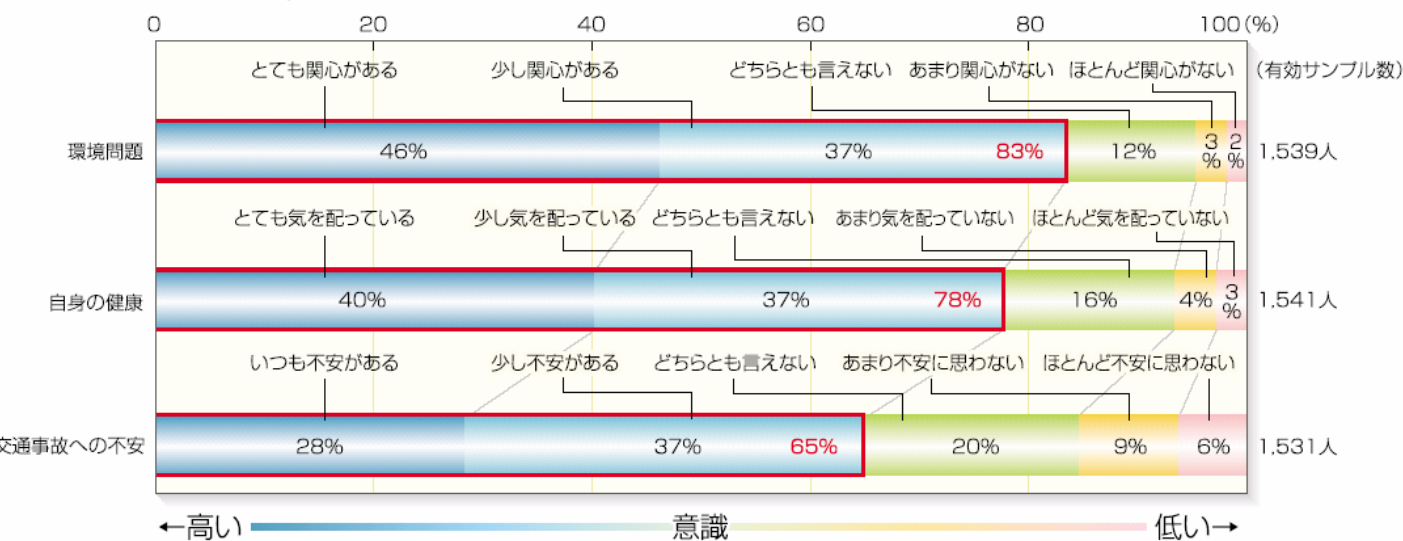
▼地域の利用交通手段



【環境・健康・事故に対する意識調査】

環境・健康・事故に対する意識についてお訪ねしたところ、約8割の方が「環境問題」、「自身の健康」について意識が高いということが分かりました。

▼環境面・健康面等の意識

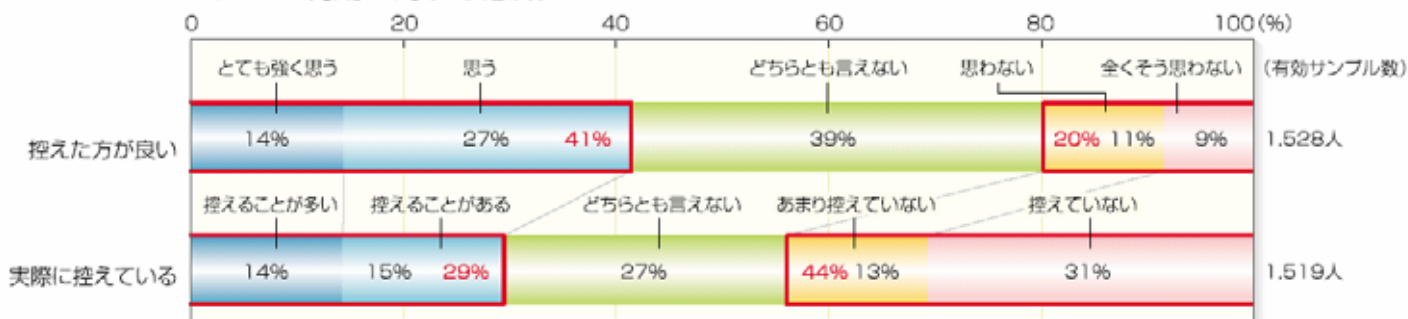


【クルマ(自家用車)利用に対する意識調査】

・クルマの利用に関して、全体の約4割の方が「利用を控えた方がよい」と考えておられます。

・実際に控えているかどうかについては、その傾向は逆転しており、思っているも行動することはなかなか難しいようです。

▼クルマ利用に対する意識



【公共交通の割引情報等の「グッズ」希望者】

・公共交通割引情報等のグッズを希望される方が全体の約6割いらっしゃいました。

・今後、公共交通情報等のグッズ希望者に対して、グッズを送付し、送付前後でのクルマ利用の変化をアンケート調査等で把握していきます。

▼グッズ希望率 (有効サンプル数 1,551人)

